

1. 件 名：北海道電力株式会社泊発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和3年10月22日 13:30～16:05

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、平野室長補佐

内閣府 政策統括官（原子力防災担当）付

参事官（総合調整・訓練担当）付

太田政策調査員

北海道電力株式会社

東京支社 技術グループ 主任

（以下、テレビ会議システムによる出席）

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 原子力業務グループリーダー 他14名

5. 要 旨

北海道電力株式会社から、令和3年11月26日に予定されている同社泊発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容
- ・ 能力向上を促す実効性のある訓練シナリオとして考慮した事項

原子力規制庁から、能力向上を促せるような実効性のある事故シナリオとなるよう工夫した点について、その狙いや対策等に期待すること等を整理し、何を以て実効性があるか説明するよう伝えた。また、事業者防災訓練のピアレビューを受けた結果について、訓練結果の報告の際に報告できるよう、関係者と調整するよう伝えた。

また、原子力規制庁より、必要に応じて、緊急時対策所等へ要員を派

遣することを伝えた。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と北海道電力株式会社の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

北海道電力株式会社から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があった。

内閣府より、ERCオフサイト各機能班等との接続訓練を計画しており、訓練実施について協力依頼があった。

北海道電力株式会社から、接続訓練の実施のために協力できることを検討する旨回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 泊発電所防災訓練計画説明に係る面談（5週間前）時の確認事項